

研究報告会

グローバルサプライチェーン研究

～日本企業・静岡企業への提言～

米中対立とコロナ禍の影響を受けて、多国籍企業の多くはグローバルサプライチェーンの見直しに着手しているといわれている。そのなかで、日本企業はバブル崩壊以降のデフレ進行と円高の影響を回避して、中国をはじめとする東アジアに主なモノづくりのサプライチェーンを集約させてきた。これまでのサプライチェーンの基本形は効率化を目的に設計されているが、これからは安定的に調達できるようにサプライチェーンの強靭化が求められている。

静岡県立大学グローバル地域センターでは3年にわたり中国の「一帯一路」イニシアティブとグローバルサプライチェーン研究を実施してきた。今回、本研究の成果を県民の皆様に報告する。

開催
日時

令和
3年

11月15日(月)

13:30～16:30

参加料
無料

要・事前申込
定員150名

プログラム (敬称略)

開会あいさつ・趣旨説明

研究報告

新たな産業革命とグローバルサプライチェーンの再編

静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 柯 隆

研究報告

アジアにおけるサプライチェーンの再構築と課題

～米中対立と日本企業～

千代田化工建設株式会社 執行役員

京都大学経営管理大学院経営研究センター 特命教授 堀口 宗尚

講演

DXと新たなグローバルサプライチェーン

株式会社ミットヨ 顧問 山本 隆邦

休憩

パネルディスカッション

モデレーター：静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 柯 隆

コメンテーター：一般財団法人静岡経済研究所 常務理事 恒友 仁

日本貿易振興機構アジア経済研究所開発研究センター 主任研究員 丁 可

開催方法

オンライン配信

オンライン視聴の注意点

- ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を利用し、事前に申込いただいた方にオンライン配信をします。
- 視聴される際はWi-Fi環境が無制限になっているかを必ず事前にご確認ください。
- 本研究報告会の録音、録画、撮影はご遠慮ください。

申込方法

グローバル地域センターのウェブサイトまたはQRコードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。

<https://www.global-center.jp>

グローバル地域センター

検索

申込期限

令和3年
11月14日(日)



主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603

<https://www.global-center.jp> E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

後援

静岡県、(公財)静岡県産業振興財団、(一財)静岡経済研究所、(公社)ふじのくに地域・大学コンソーシアム、静岡県信用保証協会、(一社)静岡県経営者協会、(公社)静岡県国際経済振興会、(一社)静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、(独)日本貿易振興機構静岡貿易情報センター、(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター、静岡県日中友好協議会、(公財)浜松地域イノベーション推進機構(順不同)

研究報告会

グローバルサプライチェーン研究

～日本企業・静岡企業への提言～

プロフィール



か りゅう
柯 隆

- 静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授
- 東京財団政策研究所 主席研究員

1963年中国南京市出身。1994年名古屋大学大学院経済学研究科 修士課程修了(経済学)。長銀総合研究所国際調査部研究員、富士通総研経済研究所主席研究員を経て、2018年から現職。中国経済・金融を専門とする日本の代表的エコノミスト。分析力に定評があり、国内外で執筆・講演活動を行う。著書に、『「ネオ・チャイナリスク」研究：ヘゲモニーなき世界の支配構造』、『中国「強国復権」の条件：「一帯一路」の大望とリスク』(第13回榎山純三賞受賞)ほか。



ほり ぐち むね たか
堀口 宗尚

- 千代田化工建設株式会社 執行役員
- 京都大学経営管理大学院経営研究センター 特命教授

日本企業の海外進出をサポートする(株)国際協力銀行において、アジア向け融資、海外投資・金融動向の分析等を担当後、千代田化工建設(株)で、ファイナンス組成支援やインテリジェンス業務等を担当。京都大学では、インフラと地方創生、サプライチェーンと経済安全保障等につき研究中。共著等に『プロジェクトファイナンスの実務』、『イスラム金融－仕組みと動向』、『国際ビジネス用語事典』。早稲田大学大学院法学研究科修了(修士)。



やま もと たか くに
山本 隆邦

- 株式会社ミットヨ 顧問

1950年兵庫県竜野市生まれ。1973年東京理科大学工学部を卒業後、1973年(株)山善入社。2011年執行役員システムエンジニアリング統括部長、2015年上席執行役員国際本部長、2016年常務執行役員機械事業部長を歴任し、2018年退社。勤務中は中国、インド、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界各国を訪問し実務に当たる。2018年11月より(株)ミットヨと常勤顧問契約。現在は社長の要請によりスマートファクトリーの担当を受け持つ。



つね とも ひとし
恒友 仁

- 一般財団法人静岡経済研究所 常務理事

1966年静岡市生まれ。1989年慶応義塾大学経済学部を卒業後、(株)静岡銀行に入行。市場営業部、香港支店を経て、資金証券部証券投資グループ長、資金為替グループ長、資金証券部長を歴任するなど、金融市場に関する経験が豊富。2017年(一財)静岡経済研究所に入所し、2021年より現職。専門分野は金融市場、マクロ経済。地域シンクタンクとして静岡県経済を俯瞰し、課題を明らかにするとともに解決に向けて提言を行う。



てい か
丁 可

- 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所開発研究センター 主任研究員

中国南京市出身。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。2005年アジア経済研究所入所。専門は、企業・産業研究、中国経済論。主な著作に、『中国 産業高度化の潮流』(今井健一氏と共編著、ジェトロ・アジア経済研究所、2008年)、Market Platforms, Industrial Clusters and Small Business Dynamics: Specialized Markets in China (Edward Elgar, 2012)など。ほか論文多数。